

甲南大学学生相談室紀要

第
26
号

巻頭言	藤原三枝子
講演	
すべての個性が輝くキャンパスライフに向けて	吉武清實
論文	
村上春樹の小説「騎士団長殺し」への私論	青木健次
留学生とのカウンセリングにおける 言語的／非言語的コミュニケーション	中谷真弥
障害のある外国人留学生の受け入れに関する一考察	西浦太郎
学生相談における見立て	高石恭子
報告	
KONAN プレミア・プロジェクト・レポート「朗読アワー」	大谷祥子
グループワーク・レポート①「声のちから」	友久茂子
グループワーク・レポート②「リズムワークで世界一周」	佐藤 映
グループワーク・レポート③「蕎麦打ち体験」	松本知子
2017年度金曜 Re アワー・レポート	渡里千賀
2017年度ランチアワー・レポート	松本知子
学生相談室 2017年度年間活動報告	高石恭子・友谷博美
学生相談室 2017年度利用者統計報告	佐藤 映・西浦太郎
資料	
新着図書目録	
スタッフ一覧・業績目録	
後記	高石恭子

「甲南大学学生相談室紀要」 編集方針

1. 本誌は、甲南大学学生相談室（以下、学生相談室。）の紀要であり、1年に1号を発行する。
2. 本誌は、原則として甲南大学学生相談室教員ならびに相談員の学生相談に関する研究発表と活動報告にあてる。
3. 本誌は、論文、報告、資料、講演録等を掲載する。
4. 本誌に掲載する論文等は、いずれも未発表のものに限る。
5. 本誌に掲載する論文等は、所定の執筆要項に準拠したものに限る。
6. 本誌の発行を目的として、学生相談室内に編集委員会をおく。編集委員会は、学生相談室長および2名の学生相談室教員から構成される。
7. 本誌に掲載された論文、報告等の著作権は、学生相談室に帰属する。無断で複製あるいは転載することを禁じる。
8. 本誌に掲載された論文は、原則として甲南大学機関リポジトリに登録し、インターネット上で公開する。公開を希望しない場合は、原稿提出時に編集委員会にその旨を書面で申し出ることとする。

執筆要項

2017年9月30日

1. 論文の執筆に際しては、研究上の倫理を守ること。特に事例を扱う場合には、学生および関係者の人権とプライバシーに最大限の配慮を行うこと。
2. 論文、報告等の執筆予定については、7月上旬までにタイトル（仮）を添えて希望を出すこと。希望が重なった場合には編集委員会にて調整し、7月末までに目次を決定する。
3. 論文、報告等の執筆に関しては、原則としてワードプロセッサを使用し、図表を含めた完成原稿を期日までにデータと紙媒体で提出すること。
4. 論文については、文献・図表等を含めて16,000字～20,000字以内とすること。またこれ以外に、英文タイトルとアブストラクト（100～175字以内）およびキーワード（3語～5語以内）をつけ、専門家の校閲を経ること。
5. 報告については、各活動報告は出来上がり2ページ～3ページ以内、年間利用統計報告は出来上がり8ページ～9ページ以内に収めること。（出来上がり体裁は、B5判縦置き横書き、22字×38行×2段）
6. 見出し、註、文献等の書き方については、過去の本誌の例にならうこと。人名・地名、学術用語、統計用語などの書き方については、原則として「学生相談研究」誌の例にならうこと。
7. 原稿提出期限は、論文については1月の第2火曜日、それ以外については12月の第2金曜日（必着）とする。
8. 執筆者による校正は2回とする。なお、全体の統一のために、編集委員会で若干の修正を行うことがある。大きな変更を要する場合は、執筆者と相談して進める。
9. 刊行は2月末日を予定する。
10. 執筆者には掲載誌1部を進呈する。また、論文執筆者には論文1本につき別刷30部を進呈する。